



～創刊号が発行された昭和41年～

昭和40年の梅雨期の集中豪雨、昭和41年の台風第4号により、農作物ならびに家屋の浸水等の被害を受けました。この被害に対処するため、桜川改修工事の早期完成や備前川の改修などについての意見書を茨城県知事及び関係機関へ提出しました。



▲創刊号表紙

つちうら市議会だより

Tsuchiura City Assembly News

200号記念特集

今号で、創刊から記念すべき200号を迎える「つちうら市議会だより」。市民と議会を結ぶパイプ役として創刊され、46年を経過しようとしています。

今回の特集では、記念号が発行された年の議会の出来事を振り返ります。

～第100号が発行された平成3年～

雲仙普賢岳の噴火により大きな被害を受けた方々に対し、全議員から救援金を募り被災地へ送りました。



▲第100号表紙

霞ヶ浦総合対策特別委員会では霞ヶ浦の浚渫事業実施について、常磐線対策特別委員会においてはJR及び運輸省に快速電車の土浦駅乗り入れについて、強力な働きかけを行いました。

また、議会史編さん特別委員会が設置され、平成4年3月に「土浦市議会五十年のあゆみ」を発行しました。

～第50号が発行された昭和53年～

市内における国道6号の交通渋滞緩和を目的としたバイパスの、早期完成を待ち望んでいる市民の要望に応えるべく、土浦バイパス建設特別委員会を設置し、早期完成に向けた運動を展開した結果、昭和57年3月、国道6号バイパスが暫定二車線で全線開通しました。



▲国道6号バイパス開通式

～第150号が発行された平成14年～

平成14年第1回定例会の様様を、土浦ケーブルテレビを通じて約17,000世帯に生中継しました。この中継は試験的に放送したもので、議会中継をテレビで生中継したのは県内初めての試みでした。

後編 編集集

市民の皆さまに、議会の活動を分かりやすくお伝えするために、昭和41年4月に創刊されました「つちうら市議会だより」が、このたび200号を迎えることとなりました。

この間の、本市を取り巻く環境の著しい変化、また市民ニーズが多様化するなか、議会の果たす役割はより重要となっており、長引く景気低迷から、厳しい財政運営を強いられる状況のなか、私ども議会も執行部と一丸となり、土浦のまちづくりを進めてまいります。

今後、市民の皆さまに分かりやすく愛される「議会だより」をお届けしてまいりますので、ご支援・ご協力をお願いいたします。

● 議会報編集委員会 ●

- 委員長 寺内 千鶴子
- 副委員長 吉田 一明
- 委員 久松 一明
- 委員 海老原 一明
- 委員 川原 一明
- 委員 福田 一明